



コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレターNo. 130

2012年8月



ブラジル・アリアンサ宣教の過去・現在・未来（その1）

会員 圓林 栄喜

1 はじめに

ブラジル・アリアンサで下桑谷浩宣教師が奉仕をはじめられてはやくも20年が過ぎました。自衛隊を退職されたのち単身でアリアンサに乗り込まれ、様々な体験をしてこられた下桑谷宣教師の働きを振り返り、第1回目はブラジル・アリアンサについて、2回目は下桑谷宣教師のアリアンサにおけるこれまでの活動、3回目は今後の展望という3回シリーズで報告したいと考えています。

2 ブラジル・アリアンサについて

(1) ブラジルについて

地球の反対側に日本の23倍の広大な国土(851万Km²、世界5位)を持つ国があります。それがブラジルです。世界中の民族、人種が集まり、豊富な地下資源、肥沃な大地、アマゾン、パンタナール等の自然遺産、サルヴァドール、ブラジリア等の文化遺産を有する恵まれた大国です。人口は約1億9千400万人(世界5位)、カトリック教徒が90%を占めます。明治41年(1908年)に初めてブラジル移民が始まり、日系人は約140万人と言われており、その日系人を対象とした伝道を行う必要がありました。

(2) アリアンサについて

アリアンサはサンパウロ州北西部のミランドポリス市に位置(サンパウロから約600km)しています。大正10年(1921年)に当時の長野県知事・本間利雄(ほんまとしお)の提唱により、ブラジルに理想の日本人村を作ろうという、「移住地建設宣言」



アリアンサの場所

がなされます。知事の命を受けた力行会の永田稠(ながたしげし)が山室軍平の助言を得て、北原地価造(きたはらちかぞう)、輪湖俊午郎(わこしゅんごろう)らとともに建設にとりかかり、大正13年(1924年)には2200アルケール(5324ha)の土地が購入登記され、アリアンサが誕生します。

そもそも、アリアンサとは旧約聖書のI歴代誌28章2節の「神の足台」をポルトガル語で「アリアンサ」と呼ばれていることに由来します。「当地が神の契約の地で、乳と蜜の流れる里になるように」という願いを込めてつけられたそうです。

永田稠氏は多くのクリスチャンを移住させ、教会の基礎を作ります。入植者の中には朝夕の礼拝をおこなう者がおり、日曜学校も開かれ、当時の会員数は114名に及んだそうです。昭和3年(1928年)にはアリアンサキリスト教会が発会しました。

また、彼は「コーヒーより人を作れ」の標語を残し、アリアンサ大学の建設も提唱しました。それまでの出稼ぎ的な移住態度と異なり、移住地に確実に定着できるように確実な計画と秩序、統制ある組織の下に移住することが計画され、移住者も軍人、学者、実業家、官吏、芸術家、宗教家等インテリ的色彩が強いものでした。

このため「銀ブラ植民」と羨望のまじった名称まで生まれたこともありましたが、多くのインテリたちはもともと百姓ではなく、コーヒー不況や地力減退などのために畜産方面にいらがえすることもできず、かなりの移住者がアリアンサの地を離れていきます。一時はすべての村に日曜学校が広がり、家庭日曜学

校まで開かれた状況でしたが、移住者の転出や日本人一世の昇天、若者の流出によりすべての教会が間もなく閉鎖され、アリアンサ教会のみが残ります。しかし、その教会も20年間無牧状態が続き、苦しい道のりを経験したのであります。(次回に続く)

長橋晴子師の召天について

今井健次先生のご長女であられた長橋晴子師が6月23日に天に召されました。日本で行われたAMCFアジア大会でもピアノのご奉仕をしていただき、コルネリオ会の働きにも理解のある先生が召されたことは非常に残念です。告別式は慰めに満ちた故人のお人柄を思いだす式でした。ご主人の和彦兄をはじめご遺族の皆様へ慰めと平安があるようお祈りください。

以下に長橋晴子師の略歴を紹介いたします。

1950年1月21日	父今井健次、母倫子の長女(兄俊博、弟崇博)として誕生
1955年	日本基督教団石岡記念教会付属小平学園幼稚園入園。母の影響でピアノを始め、都立駒場高校芸術科、国立音楽大学ピアノ科卒業(皇居御前演奏会に出演)
1970年	二ス留学後、尚美高等音楽院講師
1978年9月23日	洗礼を受ける(日本基督教団石岡記念教会)
1981年	長橋和彦と結婚(日本同盟基督教団徳丸町キリスト教会)
1983年	エジプト(和彦駐在地)、カイロ・コンセルバトワール教師
1992年	現地教会(タハリール)と英国聖公会教会出席
	帰国、東洋英和女子短大講師
	サウジアラビア(和彦駐在地)、

1999年	ロンドン(和彦駐在地) JCF(ロンドン)日本語教会出席
2003年	帰国直後母倫子召天、母の遺言が福音宣教の奉仕へ後押しお茶の水聖書学院卒業、日本女子大講師
2004年	日本基督教団石岡記念教会付属小平学園幼稚園園長
2006年	子宮癌手術、抗癌治療をしつつ、勤務継続、その後異常なし
2008年4月	日本基督教団東京聖書学校入学(2年次編入)
2011年3月	日本基督教団東京聖書学校卒業
4月1日	日本基督教団日野原記念上尾栄光教会に主任担任教師として着任
5月25日	関東教区総会にて准允
5月29日	日本基督教団日野原記念上尾栄光教会主任担任教師就任式
12月7日	日本基督教団日野原記念上尾栄光教会宗教法人登記完了
2012年3月8日	視力低下がおこる
4月22日	日野原記念上尾栄光教会主日礼拝説教及び第51回定期教会総会議長の任を果たす(最後の務めとなる)
5月2日	都立多摩総合医療センター(神経病院)に入院
6月23日	午後2時26分急変し召天(和彦祈り送る)

2012年度総会報告

5月12日(土)、2012年度コルネリオ会総会が高田馬場マルエツビル2F集会所にて実施されました。2011年度の活動報告・会計報告と2012年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議がありました。

また、2012年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は以下のようになっています。異議のある方は会宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

2012年度コルネリオ会活動計画および担当者

1 方針

コルネリオ会は、2012台湾 Interaction, 2013韓国東アジア大会、2014南アフリカ世界大会への参加と世界大会の支援を計画的に準備すると

もに会員の月例会への出席奨励とニュースレターへの積極的な投稿を勧め、会を活性化して会員の使命達成に寄与する。

2 活動要領

(1) 月例会の活用

ア 聖書の学びにおいては、率直な分合いを行い会員相互の霊的な一致を助長する。

イ 月例会の運営は、提案や問題点を持寄り出席者全員で解決して行くこととする。

ウ 新人の開拓に努めるとともに、来訪者を歓迎して地境を広げて行く。

(2) 広報

ニュースレターへの会員の積極的な投稿を
勧め、会活動への参画意欲を醸成して行く。

(3) 宣 教

ア ホームページを更に活かし、会を通じて宣教
に寄与する。

イ テモテ会とは、韓国軍人クリスチャン及び防
大生との交わりを通し信仰を深め励まし合う。

ウ 自衛隊宣教会とは、宣教活動の方向を周知し
つつ忍耐をもって協調を続ける。

(4) 国外活動への参加と支援

ア AMCF（世界軍人キリスト者の会）及び
ACCTS（AMCFの教育支援機関）との連絡・調整
を維持し、相互の意思疎通を図る。

イ 2014世界大会の支援と参加の準備を優先し、
次いで2012台湾 Interaction, 2013東アジア
大会への出席者を計画的に確保して行く。

(5) 会計

ア コルネリオ会会員の海外派遣宣教師、教職
顧問、AMCF及びACCTS等への献金に努める。

イ 世界大会への支援献金が金を、ニュースレ
ター等を通じて祈り求める。

(6) 会 計

コルネリオ会会員の海外派遣宣教師、教職顧
問、AMCF及びACCTS等への献金に努める。

合計	¥1,638,744
2 支出	
講師・謝礼費	¥0
ニュースレター作成・発送費	¥86,500
新聞雑誌広告費	¥28,875
集会費・例会会議費	¥25,000
慶弔費	¥20,000
接待交際費	¥0
旅費交通費	¥150,000
事務通信費	¥3,530
雑費（振り込み手数料）	¥16,430
献金（国内教会・自衛隊宣教会等）	¥517,776
小計	¥848,111
2012年度への繰越	¥790,633
合計	¥1,638,744

2012年度予算

(2012. 4. 1~2013. 3. 31)

1 収入	前年度繰り越し	¥790,633
	献金	¥400,000
	利息	¥125
合計		¥1,190,758
2 支出		
講師・謝礼費	¥10,000	
ニュースレター作成・発送費	¥90,000	
新聞雑誌広告費	¥29,000	
集会/例会費	¥25,000	
慶弔費	¥20,000	
接待交際費	¥0	
旅費・交通費（国内・国外移動）	¥30,000	
事務通信費	¥8,000	
雑費（振り込み手数料）	¥10,000	
献金（国内教会・自衛隊宣教会等）	¥60,000	
次年度への繰越	¥708,758	
2014年南アフリカ世界大会への献金	¥200,000	
合計		¥1,190,758

役員人事

会 長	今市宗雄
副会長	石川信隆
総 務	伊藤忠臣 長濱貴志
渉 外	矢田部稔 中野久永 藪内隆志

広 報	圓林栄喜 芝 祐治
会 計	加瀬典文
監 査	中村誠一 玉井佐源太
教職顧問	金学根 井草晋一 徳梅陽介

2011年度決算

(2011. 4. 1~2012. 3. 31)

1 収入	前年度繰越金	¥1,091,348
	献金	¥547,271
	利息	¥125

献金のお願い

コルネリオ会会計 加瀬典文

いつもコルネリオ会をおぼえていただき、お祈り
下さいましてありがとうございます。また、多くの献金
をいただいていますことに心から感謝申し上げます。

昨今の日本及び世界の経済状況は決して芳しいもの
ではありません。しかしながら、私どもは主に祈り求め
24年度目標献金額を40万円としました。7月31

献金感謝 (2011. 10. 1-2012. 7. 31)

いつもコルネリオ会を覚えていただき感謝致します。

矢田部稔、木下真由美、斉藤孝、郷家一二三、
河野行秀、桧原菜都子、今市宗雄・敬子、
松山曉賢、宮崎健男、吉田靖、新屋徳治、
久保正幸、圓林栄喜・さゆり、石川信隆、
須藤義照、谷岡博志、倉松功、玉井佐源太、
西澤邦輔、山下和雄、三沢キリスト教会、
加瀬信吾、岡村紀子、長橋和彦・晴子

コルネリオ会から献金することにしております。

どうか、会計のために皆様お祈りいただければ幸い
です。

リックさんご夫妻の帰国

ACCTSスタッフとして長年奉仕してこられ、リックさんの名称で親しくお付き合いさせていただいたRichard Ryles 兄と奥様のMelissa 姉が、米軍の仕事を退官し米国に帰国されることになりました。9月末に日本を発たれる予定です。これまでの主にある交わりの数々に感謝したいと思います。

Richard Ryles 兄とコルネリオ会等との交流は以下の通りです。

1989年	横浜のお母様を訪ねるため来日、その際初めてコルネリオ会の集会に参加 防衛大学校や馬堀聖書教会で石川兄、徳梅牧師、内山家と出会う また矢田部兄とも出会う
1989年～1997年	お母様訪問のためたびたび来日、その折に石川兄の主催する防衛大学校の聖書研究会に参加
1998年	相模総合補給廠に勤務となり神奈川県相模原市に住む コルネリオ会にも参加、今井先生、今市兄、伊藤兄、中野兄、滝口兄等と出会う
2000年～2004年	キャンプ座間に異動 防衛大学校を訪問するなど学生と交流を持つ 2002年にはキャンプ座間にコルネリオ会メンバーを招いて交わりを持つ また、同年AMCFアジア大会が市ヶ谷で開催され、準備会から参加し、協力
2004年～2012年	東京に引越す 2005年には品川で行われたアジア地域のInteractionでインストラクターを務める 2010年には成田で行われたAMCFアジア大会に参加、協力 中野兄姉、圓林兄姉、清水兄姉とは、約2年にわたり聖書研究会を続ける

○ 一番の思い出についてリックさんに伺いました

「すべてが良い思い出になっています。14年の間にはたくさんのすばらしいことがありました。主にある者としては、私の母や叔父の小野寺家の家族4人がイエス様を受け入れるのを見ることができたのは最大の喜びです。神様は、私の日本滞在を次の国々でのACCTSとAMCFの良い活動の基礎を築くための期間として用いてくださいました。インド、スリランカ、マレーシア、タイ、インドネシア、カンボジア、ベトナム、フィリピン、モンゴル、台湾、ニュージーランド、韓国、そして、もちろん日本においてです。」

○ コルネリオ会員の皆さまへ

「14年間はあっという間に過ぎてしまいました。防大や馬堀聖書教会を尋ね、東京でのコルネリオ会の例会や2002年、2010年のAMCFアジア大会、2005年のInteractionに参加し、3組のクリスチャンカップルとの弟子訓練会を導き、コルネリオ会の皆さまと生涯にわたるであろう友情を育んでこられたこと、すべてが本当に良い思い出です。私たち夫婦は、これらの思い出を大切に胸にしつつ、神様がまた来日の機会をくださるよう祈っていきます。コルネリオ会が神様のご栄光のため自衛隊に対して力強く働きかけていけるようお祈りしています。神様が皆さんの働きを強めてくださいますように！」

